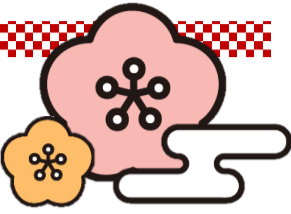


成人式「二十歳の集い」開催

— 当日レポート by 協力隊 —

今回、新成人として式に参加したのは3名。村長や議長からの挨拶に続き、「新成人これからの思い」と題し、3名それぞれが家族や地域への感謝や将来の抱負などを語りました。こちらの記事では、新成人の皆

成人の日の1月8日、檜原村でも成人式が行われました。一昨年から成人年齢が18歳に引き下げられましたが、村では今まで通り20歳になった方々を対象に成人式を開催しています。当日は私たち協力隊も、式に参列させていただきました！



さんそれぞれのコメントを抜粋して紹介します。新成人の皆さん、本当におめでとうございませす！（高野）

調理師の免許を取得し、今は栄養士の専門学校に通っています。調理師、栄養士の資格を活かした職場で働きたいと思っています！

大学で経営学や社会学を勉強中です。自分の好きなことを楽しみながら、社会にも目を向けられるような大人になりたいと思います。

スポーツの専門学校に通い、信頼される子どもインストラクターになるために頑張っています！



＼村内で不用品を循環！／

くるくるフリーマーケット開催



12月上旬、やすらぎの里で村民有志による映画上映会が行われました。上映された映画は「ゼロ・ウェイスト PLUS～持続可能な暮らし～」という、ごみのない社会を目指す活動（ゼロ・ウェイスト）の最前線を追ったドキュメンタリー作品です。



くるくるフリーマーケットの様子

協力隊もお手伝いとして参加し、村内の方々から「不要になったけれどまだ使える物」を集め、会場を訪れた人が自由に持ち帰ることができる「くるくるフリーマーケット」を上映会場のすぐ横で開催しました！

当日は、「こうした場所を村内で常設してほしい」という声も多くいただきました。檜原村のお家はどこもすごく大きいため、家の中に眠っている「自分は使わないけどまだ使えるもの」がたくさんあるのかもしれない。

食器や鞆、子ども服など、たくさんの物品が集まり、用意した物品の3分の1～2分の1ほどが会場を訪れた参加者の方々の手に渡っていきました。

ちなみに、武蔵五日市駅の近くに「五日市くるくる広場」という、不用品の循環を行っている場所があります。ご興味のある方はぜひ、覗いてみてください^^（高野）

小正月飾り作り



小林家住宅に飾る、小正月飾り作りに参加させていただきました。藪玉、粟穂稗穂、米俵、これらは、かつて村内各地で行われていた養蚕、粟や稗をはじめとした農作物の豊作を願った飾りでした。昨年、飾り付けのみ体験しましたが、今回は飾りの材料となる、ツゲやヌルデの木の切り出しから同行させて

いただきました。切り出した材料は、はじめにのこぎりをを使って必要な長さに切り分けました。米俵と粟穂稗穂に使うヌルデは、竹割り包丁や鎌を使って表皮を剥ぎます。この作業、私齊藤が苦戦する一方で、高野隊員が見事な包丁さばきを披露しました。（右の写真）



制作風景



表皮を剥いだヌルデは、表皮からは想像のつかない鮮やかなクリーム色をしていました。先端を棒状にした竹に、ヌルデをさして粟穂稗穂の完成です。作業をしながら、地域の歴史や文化について学ぶことができました。飾りの一つ一つに暮らしの様子が表れているのを感じました。（齊藤）

弘沢の滝冬まつり

私たち地域おこし協力隊も関わらせていただいている、弘沢の滝冬まつり。今年も「氷瀑クイズ」「フォトコンテスト」「氷のオブジェ」が行われています。昨年12月、弘沢の滝に続く遊歩道の工事があり、安全且つ歩きやすくなっています。また駐車場は現在も工事中です。弘沢の滝へ行く際は、総合グラウンドの臨時駐車場をご利用ください。

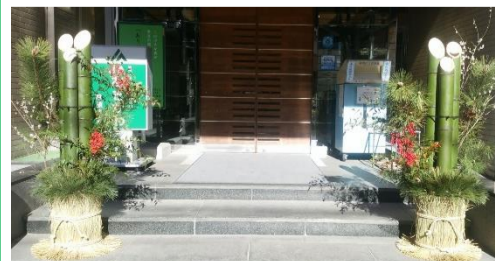


結氷率の発表とフォトコンテストの応募は、2月20日（火）までです。詳しくは弘沢の滝冬まつりのポスターやチラシをご覧ください。（齊藤）



1月の弘沢の滝と氷のオブジェの凍結状況

今年も門松作りしました！



今年も役場前に門松を飾りました。材料となる松、竹、梅、南天、藁は全て檜原村のものを使用しています。ご提供くださった皆さん、ありがとうございました。2024年も皆さんにとって素敵な1年になりますように。



＼空き家の相談受付中／
空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで！
☎042-519-9556

檜原村と私の、これまでと、これから。



春。小林家住宅にて。

を開始しました。現時点では未知数なことも多く、試行錯誤をしながら、今後も取り組んでいきます。また、前職の植木屋の依頼を頂くことも幾度かあり、お庭のお手入れや、伐採など、お役にたてることを嬉しく感じています。退社したのが二年前の四月。思いがけない急遽の退職で戸惑いながらも、これを機に、夢であった移住することを決意。地域おこし協力隊の求人から移住先を探す中で、福島県原野の街に応募することに。書類の準備を終えて郵送する直前、たまたま先輩の造園会社でサマーランド近くのお寺の仕事をすることになりました。私が地方への移住を考えているという話題から、檜原村の話に。「この近くに村があるよ。」それまで、東京に村があることすら知らなかった私にとって、印象的な一言でした。その場で検索すると、檜原村地域おこし協力隊の募集が見つかり、同時にNHKの「新日本風土記」の映像もありました。地元東京の田舎。帰宅してこの映像を観る頃には福島への応募を



ロープ高所作業風景。

「本わさびの土壌栽培」を抱いていた私は、テレ移住のきっかけ。幼少期より自然が好きで田舎暮らしに憧れ、山中の杉林を利用した、きで田舎暮らしに憧れを。着任から一年を迎えた昨年の八月からは、農業振興や森林活用の糸口になればよいと考え、山中の杉林を利用した、きで田舎暮らしに憧れを。着任から一年を迎えた昨年の八月からは、農業振興や森林活用の糸口になればよいと考え、

取りやめ、檜原村への応募を考えていたのが、二年前の五月。かく迎えてくれました。その後、直感だけで応募を決め、六月三日、面接で初来村。村を訪れるのが楽しみで、面接時間が二時間前に到着。「カフェせせらぎ」の窓から見た、樹々と川の美しさ、餌をついばみに飛んでくる青い鳥。この時に魅せられて、「自分の直感を信じてよかった。」と実感したことを、今でも鮮明に覚えています。このように、縁もゆかりもなく飛び込んで来た後の住居と収入の確保

を主眼に活動していき、現時点では任期後に農業や造園業での起業の可能性が高いと考えています。というのも、現在進めている「本わさびの土壌栽培」は、林間農法で三年間の育成期間を要すると先進事例から見込んでいたため、協力隊任期では事業化に至るだけの成果が見込めません。そのため、任期後も継続して試験栽培を行うために、植木屋業などで収入を確保しつつ、本わさび林間農法の事業化を進めてい



本わさび林間栽培圃場の一部。

元気のひけつ 教えて下さい！ お元気さん、いらっしやい♪

坂本 章寿 さん 小沢在住 94歳

小沢で生まれ育ち、囲碁や将棋をして仲間とよく遊んだり、青年団での活動を熱心に取り組みされていたそうです。山の中で農地になりそうな場所をみつめて、開墾作業をしたことが一番の思い出で、旅行にも皆さんで良く行かれたようです。お仕事は、檜原村役場に勤務され、三十代で、村の収入役や助役を務められました。その後は、農協に勤め、海外（中国、台湾、韓国等）への出張も経験され、理事、専務、参事を任されて長年勤務されたそうです。働きながらでも、遊ぶことが好きだったため、生活のバランスを非常に大事にされていました。



ご自宅で、奥様のヒサ子さんと



いきいきサロンへ参加してます！

昨年5月から協力隊の活動の一環として始めた健康体操ですが、おかげさまで六つのいきいきサロンと自治会で合わせていただいております。健康体操では、肩、腰、膝などの痛みが起きやすい部位に対して、幅広い方ができる体操を考えて行っています。また、体操だけではなく、個別でもみほぐしたり、体操の指導も行っています。また、脳トレとして、身体を動かしながらの頭の体操も行っています。これが意外と難しいのですが、2回3回と繰り返し、徐々に皆さんでいくと、徐々に皆さんができるようになってきます。その速さにも驚かされています。



上元郷「おかげひよつとこ会」お手玉、おはじきの様子



湯久保「おやま会」でポッチャの様子



数馬いきいきサロン 昼食の様子

地域おこし協力隊メンバー

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| なかざわ 中澤 | だいき 大樹 | たかの 高野 | ゆうみ 優海 |
| さいとう 齊藤 | はやと 隼人 | ともさわ 友澤 | ゆうき 勇紀 |

村内で見かけたら、お声かけください！

編集後記

2ヶ月に一回の発行ですが、いつも前回と比べて生活が激変しているように感じます。もうすぐ檜原村に来て、1年が経ちますが、皆さんに受け入れていただき、感謝しております。まだ2年間ありますので、もっと皆さんの力になれるように頑張るとともに、もっと楽しんでいきたいと思っています！（中澤）

地域おこし協力隊へのご依頼は 檜原村役場 むらづくり推進係へ ☎042-519-9556

協力隊 Facebook は QR コードから！

